

## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 日本一ソフトウェア

コード番号 3851 URL <http://www.nippon1.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 北角浩一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 世古哲久

TEL 058-371-7275

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,000	△15.5	△46	—	△39	—	△89	—
24年3月期第2四半期	1,183	70.1	222	—	208	—	122	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △126百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 83百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△4,218.99	—
24年3月期第2四半期	5,794.84	5,700.34

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	2,355	1,058	44.9	50,006.33
24年3月期	2,001	1,184	59.2	56,199.50

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 1,058百万円 24年3月期 1,184百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	200.00	200.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	200.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,712	10.2	57	△82.1	45	△86.1	18	△91.2	898.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	21,463 株	24年3月期	21,375 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	290 株	24年3月期	290 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	21,152 株	24年3月期2Q	21,083 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(6) セグメント情報等 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界景気の減速や、依然として残る欧州の政府債務危機等の影響で、第1四半期に見られた景気回復の動きにやや足踏みが見られました。

当社グループが属するゲーム業界におきましては、当年9月に東京ゲームショウ2012が開催され、総来場者数が過去最多を記録するなど、大きな盛り上がりを見せました。また、同月にWii Uや新型PlayStation 3等のハードウェアに関する発表が行われ、ハードウェア市場の期待が高まりました。

コンシューマゲーム業界では、新ハードウェアであるPlayStation Vita及びニンテンドー3DSの需要が一段落し、ハードウェア市場、ソフトウェア市場ともに販売数が前年同時期と同水準に推移しました。モバイル業界では、スマートフォン(高性能携帯電話)への買い替えが活発に行われており、ソーシャルゲームも大きく注目を集めました。アミューズメント業界は、「安・近・短」志向の薄れが見られ、市場は軟調に推移しました。

このような状況の中で、当社グループにおきましては、パッケージ事業では、20周年記念タイトルを含む計6タイトルを発売したほか、発売を予定しているタイトルの開発等を行いました。また、国内各所で開催されたイベントに参加し、当社ブランド及び当社タイトルの認知度向上に努めました。オンライン事業では、Android OS搭載のスマートフォン端末に向けたゲームアプリの配信を行うとともに、PlayStation Networkを通じてダウンロードコンテンツの配信等を行ってまいりました。ライセンス事業では、他社とコラボレーションしたソーシャルゲーム及びPC向けオンラインゲームの配信をしてまいりました。その他事業では、『うたの☆プリンスさまっ♪All Star』(PlayStation Portable専用ゲームソフト)の受託開発、カードゲームショップ「プリニークラブ」の運営等を行いました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,000,471千円(前年同期比15.5%減)、営業損失46,217千円(前年同四半期は222,584千円の営業利益)、経常損失39,515千円(前年同四半期は208,873千円の経常利益)、四半期純損失89,239千円(前年同四半期は122,170千円の四半期純利益)となりました。セグメント別の業績は以下のとおりです。

#### (パッケージ事業)

パッケージ事業におきましては、国内外合わせ全6タイトルの発売を行いました。

国内市場では、『絶対ヒーロー改造計画 PSP the Best』(PlayStation Portable専用ゲームソフト)、『洞窟物語3D』(ニンテンドー3DS専用ゲームソフト)、『特殊報道部』(PlayStation Vita専用ゲームソフト)の3タイトルを発売いたしました。また、当社は2013年7月12日に設立20周年を迎えるにあたり、『神様と運命革命のパラドクス』(PlayStation 3専用ゲームソフト)をはじめとした記念タイトルの発売を予定しており、その開発及びプロモーション活動等を行いました。

海外市場では、『Disgaea3: Absence of Detention』(邦題:『魔界戦記ディスガイア3 Return』、PlayStation Vita専用ゲームソフト)、『Atelier Meruru: The Apprentice of Arland』(邦題:『メルルのアトリエ〜アーランドの錬金術師3〜』、PlayStation 3専用ゲームソフト)、『Legasista』(邦題:『迷宮塔路レガシスタ』、PlayStation 3専用ゲームソフト)の3タイトルを発売いたしました。

グッズの製作・販売につきましては、ラバーストラップ等の新規グッズの製作や、当社の通信販売サイトにおけるキャンペーンの展開を行い、既存顧客の満足度向上に努めました。また、新規顧客の獲得に向けて「最強Vジャンプフェスタ2012」、「秋葉原電気外祭り 2012 SUMMER in 新宿」をはじめとした国内各所で行われたイベントに出展し、新規グッズの先行販売等を行いました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高738,257千円、営業損失79,382千円となりました。

#### (オンライン事業)

オンライン事業におきましては、Android OS搭載のスマートフォン端末に向けたゲームアプリ『無限魔界ディスガイア』の配信、PlayStation Networkによるダウンロードコンテンツの配信をしてまいりました。また、GREE向けソーシャルゲーム『ディスガイア魔界コレクション』の配信を新たに開始いたしました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高171,839千円、営業利益117,598千円となりました。

#### (ライセンス事業)

ライセンス事業におきましては、株式会社ドリコムとの共同事業として製作したGREE及びmixi向けソーシャルゲーム『ビククリマン』の配信をしてまいりました。また、株式会社ガマニアデジタルエンターテインメントとの共同事業としてPC向けオンラインゲーム『Webファントム・ブレイブ』の配信をしてまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高41,829千円、営業利益34,503千円となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、株式会社ブロッコリーから発売が予定されております『うたの☆プリンスさまっ♪All Star』(PlayStation Portable専用ゲームソフト)、『神々の悪戯(あそび)』(PlayStation Portable専用ゲームソフト)の受託開発を行いました。また、同社と共同で製作したカードゲーム『Z/X(ゼクス)』の好調を受け、トレーディングカードゲームや当社のグッズを扱う「プリニークラブ」の売上も堅調に推移いたしました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高48,544千円、営業利益587千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,355,969千円となり、前連結会計年度末に比べ354,310千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、現金及び預金の減少(前連結会計年度末に比べ44,292千円の減少)、商品及び製品の増加(前連結会計年度末に比べ、40,142千円の増加)、仕掛品の増加(前連結会計年度末に比べ、263,244千円の増加)等によるものであります。

主な固定資産の増減は、投資有価証券の増加(前連結会計年度末に比べ23,382千円の増加)等によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は1,297,185千円となり、前連結会計年度末に比べ480,492千円の増加となりました。

主な流動負債の増減は、買掛金の増加(前連結会計年度末に比べ30,871千円の増加)、短期借入金の増加(前連結会計年度末に比べ320,000千円の増加)、未払金の増加(前連結会計年度末に比べ64,608千円の増加)等によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の増加(前連結会計年度末に比べ21,132千円の増加)等によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,058,784千円となり、前連結会計年度末に比べ126,182千円の減少となりました。

主な純資産の増減は、四半期純損失89,239千円による減少等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は628,822千円となり、前連結会計年度末に比べ44,292千円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は290,784千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失39,947千円、たな卸資産の増加額305,172千円、法人税等の支払額51,428千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は83,567千円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出100,118千円、貸付けによる支出40,000千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は346,960千円となりました。これは主に、短期借入金の純増加額320,000千円、長期借入金による収入48,000千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期業績見通しにつきましては、当第2四半期連結累計期間の業績は当初業績予想に比べ順調に推移しておりますが、当期発売予定であった『魔女と百騎兵』を発売未定にしたこと、当第4四半期連結会計期間に発売を予定している『神様と運命革命のパラドクス』、『ディスクガイアD2』などの商品の販売動向は、いまだ不確定な要素を含んでおります。従いまして、現段階においては、平成24年5月11日に公表いたしました通期業績予想は変更しておりません。今後の受注状況や、その他の発売予定タイトルの開発状況等を勘案し、通期業績について修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

業績予想に関する留意事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料公表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。今後の経済情勢・市場の変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績は業績予想と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、海外連結子会社については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	673,114	628,822
受取手形及び売掛金	231,808	234,001
商品及び製品	59,772	99,915
仕掛品	180,007	443,252
繰延税金資産	30,163	27,936
その他	40,746	97,878
貸倒引当金	△850	△1,700
流動資産合計	1,214,763	1,530,106
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	351,614	342,620
機械装置及び運搬具(純額)	7,372	5,908
土地	172,746	172,746
建設仮勘定	—	6,750
その他(純額)	38,943	39,502
有形固定資産合計	570,676	567,526
無形固定資産		
投資その他の資産	11,892	13,724
投資有価証券	177,768	201,151
その他	26,558	43,460
投資その他の資産合計	204,327	244,611
固定資産合計	786,896	825,863
資産合計	2,001,659	2,355,969

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	74,312	105,183
短期借入金	329,600	649,600
1年内返済予定の長期借入金	37,507	46,872
未払金	72,468	137,076
未払法人税等	25,529	12,271
賞与引当金	17,492	29,467
売上値引引当金	55,876	58,943
その他	39,791	77,383
流動負債合計	652,577	1,116,797
固定負債		
長期借入金	145,742	166,874
退職給付引当金	10,375	10,278
その他	7,997	3,235
固定負債合計	164,115	180,388
負債合計	816,692	1,297,185
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	244,062	245,602
資本剰余金	234,062	235,602
利益剰余金	805,589	712,531
自己株式	△16,870	△16,870
株主資本合計	1,266,843	1,176,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,644	△2,833
為替換算調整勘定	△89,521	△115,870
その他の包括利益累計額合計	△81,877	△118,703
少数株主持分	—	621
純資産合計	1,184,966	1,058,784
負債純資産合計	2,001,659	2,355,969

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	1,183,647	1,000,471
売上原価	539,499	540,467
売上総利益	644,148	460,003
販売費及び一般管理費	421,564	506,221
営業利益又は営業損失(△)	222,584	△46,217
営業外収益		
受取利息	2,142	1,019
受取配当金	727	1,898
投資事業組合運用益	—	11,694
その他	1,286	1,259
営業外収益合計	4,156	15,871
営業外費用		
支払利息	3,233	2,973
為替差損	12,275	6,158
その他	2,357	38
営業外費用合計	17,866	9,169
経常利益又は経常損失(△)	208,873	△39,515
特別利益		
固定資産売却益	4	—
投資有価証券売却益	—	90
子会社株式売却益	—	3,378
特別利益合計	4	3,468
特別損失		
投資有価証券評価損	15,946	3,900
特別損失合計	15,946	3,900
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	192,932	△39,947
法人税等	70,761	49,292
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	122,170	△89,239
四半期純利益又は四半期純損失(△)	122,170	△89,239

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	122,170	△89,239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,354	△10,477
為替換算調整勘定	△29,860	△26,348
その他の包括利益合計	△38,215	△36,826
四半期包括利益	83,955	△126,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83,955	△126,066
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	192,932	△39,947
減価償却費	21,512	22,810
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	850
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,473	12,176
売上値引引当金の増減額(△は減少)	9,287	6,333
退職給付引当金の増減額(△は減少)	779	△96
受取利息及び受取配当金	△2,870	△2,917
支払利息	3,233	2,973
投資事業組合運用損益(△は益)	—	△11,694
為替差損益(△は益)	4,312	4,277
有形固定資産売却損益(△は益)	△4	—
投資有価証券評価損益(△は益)	15,946	3,900
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△90
子会社株式売却損益(△は益)	—	△3,378
売上債権の増減額(△は増加)	△398,801	△5,823
たな卸資産の増減額(△は増加)	△132,001	△305,172
仕入債務の増減額(△は減少)	71,330	34,361
その他	△39,544	42,671
小計	△242,415	△238,767
利息及び配当金の受取額	2,247	2,563
利息の支払額	△3,303	△3,152
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	6,019	△51,428
営業活動によるキャッシュ・フロー	△237,451	△290,784
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,331	△9,728
有形固定資産の売却による収入	4	—
無形固定資産の取得による支出	△1,260	△5,351
投資有価証券の取得による支出	△30,160	△100,118
投資有価証券の売却による収入	15,162	41,837
貸付けによる支出	—	△40,000
貸付金の回収による収入	—	3,293
子会社株式の売却による収入	—	4,000
投資事業組合からの分配による収入	—	22,500
その他	△1,180	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,766	△83,567

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	180,000	320,000
長期借入れによる収入	—	48,000
長期借入金の返済による支出	△20,004	△17,503
リース債務の返済による支出	—	△2,399
株式の発行による収入	385	3,080
配当金の支払額	△4,214	△4,217
財務活動によるキャッシュ・フロー	156,166	346,960
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,540	△16,899
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△112,591	△44,292
現金及び現金同等物の期首残高	487,251	673,114
現金及び現金同等物の四半期末残高	374,659	628,822

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	901,295	130,390	79,156	72,805	1,183,647	—	1,183,647
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	901,295	130,390	79,156	72,805	1,183,647	—	1,183,647
セグメント利益又はセグメント損失(△)	144,743	103,249	75,056	11,702	334,751	(112,167)	222,584

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額112,167千円は当社管理部門に係わる費用であります。  
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	738,257	171,839	41,829	48,544	1,000,471	—	1,000,471
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	738,257	171,839	41,829	48,544	1,000,471	—	1,000,471
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△79,382	117,598	34,503	587	73,305	(119,523)	△46,217

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額119,523千円は当社管理部門に係わる費用であります。  
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。